

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 22′ 47″		
				経度	133° 51′ 07″		
赤松橋 (フリガナ)アカマツハシ	赤松線	鳥取県東伯郡三朝町赤松					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
三朝町	2016.9.28	天神川	有	一般道	その他		

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	西谷技術コンサルタント(株)	点検責任者	福間 守
点検時に記録					措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅲ	ボルト脱落	写真1 主桁01			
	横桁	Ⅱ	防食機能の劣化	写真2 横桁			
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅲ	ひびわれ	写真3 橋脚01			
支承部		Ⅲ	支承の機能障害	写真4 支承0102,0202			
その他		Ⅲ	路面の凹凸	写真5 伸縮装置02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 主桁のボルトの脱落(1群当り本数の5%以上)、圧壊による支承の沈下及びこれによる路面の段差が生じている。早期に対策を講ずる必要がある。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
Ⅲ			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

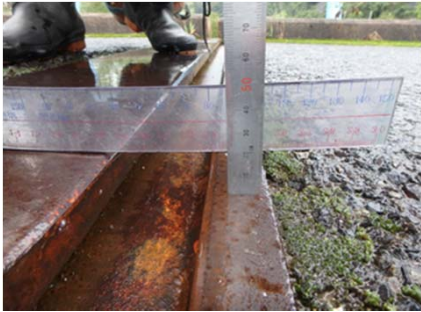
架設年次	橋長	幅員
1972年	62m	4.70m
← 起点側  終点側→		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】	上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】
写真1 ボルトの脱落  主桁01	写真2 防食機能の劣化  横 桁
下部構造(橋台)【判定区分: Ⅲ】	支承部【判定区分: Ⅲ】
写真3 ひびわれ  橋脚01	写真4 支承の機能障害  支承0102 支承0202 支承が沓座モルタル圧壊により沈下し、主桁に段差が生じている。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(伸縮装置)【判定区分： Ⅲ 】		【判定区分： 】
写真5 路面の凹凸  伸縮装置 支承沈下によって伸縮装置部分で段差が生じている。		
【判定区分： 】		【判定区分： 】